

どうなる農産物

処理加工施設

観光商工課

7

月から本格稼働した農産物処理加工施設は10月末現在で約1000万円の赤字となっている。下期で巻き返すために委託受注の拡大、販売促進などの指摘をした。

大山寺に建設する足湯は、地元との協議で参道ギヤラリー横から景観のよい元駐在所の跡地に変更になった。そのために、予算の増額をする。



手づくり工房 大山恵みの里（農産物処理加工施設）

積極的な

情報開示

町

民の「活動がわからない」と言う声にこたえて、今年初めて広報誌「農業委員会だより」を発行し

農業委員会事務局

た。会議録や標準的な作業賃金など、ホームページを通して積極的に情報を開示していく予定である。

漁業後継者育成のために

農林水産課

有

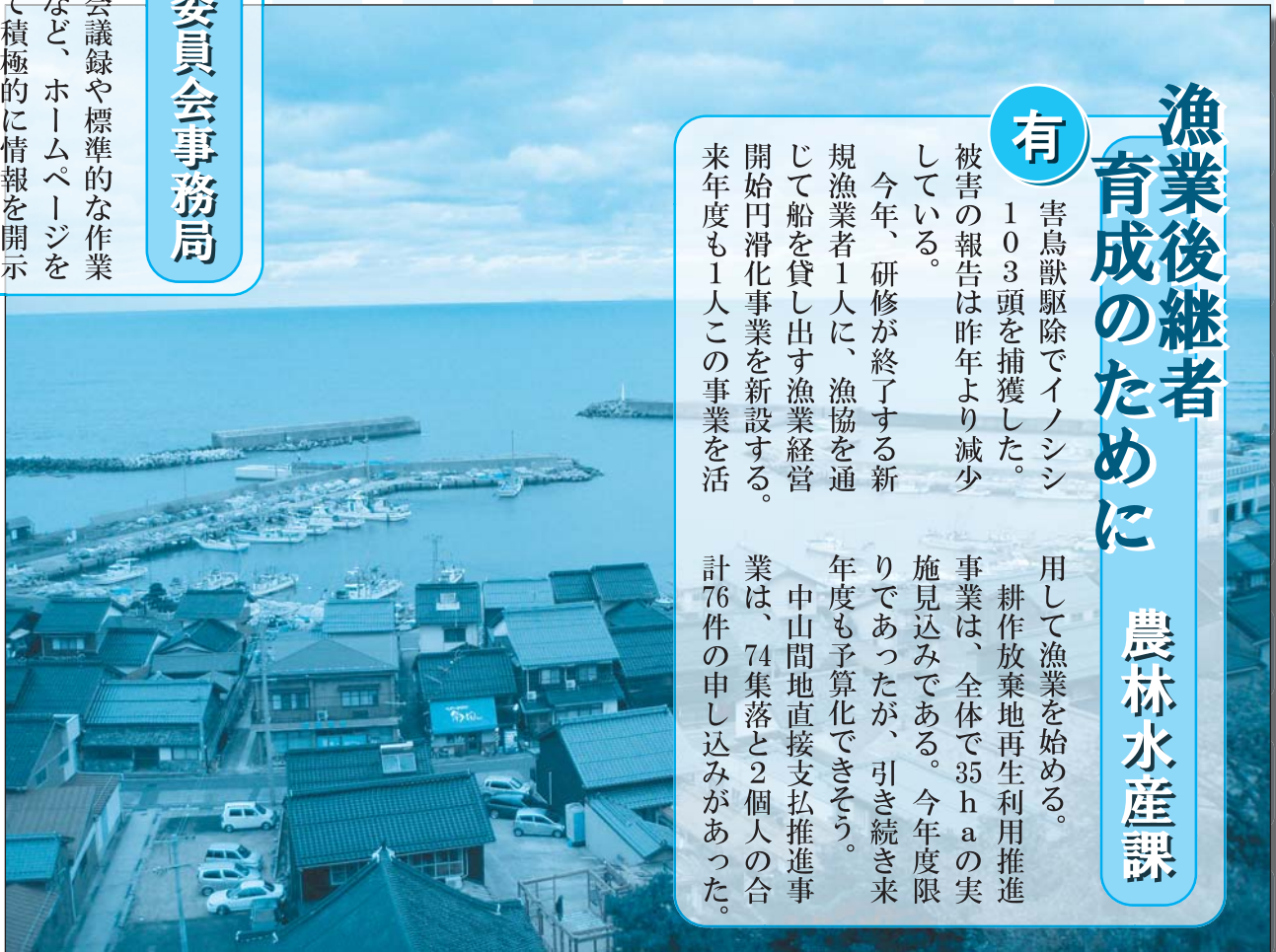
害鳥獣駆除でイノシシ103頭を捕獲した。被害の報告は昨年より減少している。

今年、研修が終了する新規漁業者1人に、漁協を通じて船を貸し出す漁業経営開始円滑化事業を新設する。来年度も1人この事業を活

用して漁業を始める。

耕作放棄地再生利用推進事業は、全体で35haの実施見込みである。今年度限りであったが、引き続き来年度も予算化できそう。

中山間地直接支払推進事業は、74集落と2個人の合計76件の申し込みがあった。



大山町役場本庁から望む御来屋漁港